

ミニシンポジウム
あらためて「農業」の意味を考える
－新たな「枠組み」の構築を目指して－

〔 日時：平成25年6月10日（月）14：00～17：00 〕
〔 場所：農林水産政策研究所 セミナー室 〕

プログラム

- 14：00 開会挨拶（渡部靖夫 農林水産政策研究所長）
- ミニシンポジウムの背景（株田文博 政策研究調整官）
- 14：15 講演「農村地域の土地資源保全のための所有権制度
－ポスト新自由主義のアジェンダに向けて－」
イアン・ホッジ ケンブリッジ大学教授
- 15：15 講演「農業の多面的機能再考
－農産物生産との結合性議論の意味と限界－」
荘林幹太郎 学習院女子大学教授

～休憩～

- 16：10 意見交換
・コメント ヘズウス・アントン OECDシニアエコノミスト
・全体討論
- 17：00 閉会

<配付資料>

- ・ミニシンポジウム あらためて「農業」の意味を考える－新たな「枠組み」の構築を目指して－（農林水産政策研究所 株田調整官）
- ・ Property institutions for land conservation: towards a post-neoliberal agenda（2種類）（ケンブリッジ大学 ホッジ教授）
- ・ 農業の多面的機能再考－農産物生産との結合性議論の意味と限界－（学習院女子大学 荘林教授）